



基本方針1 自転車を活用したライフスタイルの浸透

施策1 健康で持続可能な社会の実現に向けた自転車の活用

主な事業内容

- ・様々な媒体を使った広報活動
- ・健康増進につながる自転車活用のPR
- ・Webサイトを活用した広報の実施
- ・エコ通勤に関する広報の実施



R7 実績報告

- ・「広報ながの」やラジオを活用したPR
- ・Lineを使った駐輪場マップ掲載（位置情報や経路の表示）
- ・エコ通勤に関する企業向けアンケートの実施（R8.3実施）



R7 評価

- ・様々な媒体を使った広報活動ができた。
- ・Webサイトの内容が、一部最新でなく、わかりにくい情報になっていた。
- ・エコ通勤に関するアンケート実施により実態調査に着手できた。

R8 事業計画

- ・様々な媒体で広報活動を実施する。
- ・Webサイトの情報の掲載内容を工夫し、最新の情報を提供する。
- ・エコ通勤に関するアンケート結果の検証を実施する。

施策2 サイクルツーリズムの推進とサイクリングスポーツの環境整備

主な事業内容

- ・長野駅を起点とするレンタサイクル事業の利用促進
- ・サイクルツーリズム専用Webサイトの充実
- ・BMX競技者の練習環境の提供
- ・子どもの自転車デビューや自転車利用環境の提供



R7 実績報告

- ・長野駅を起点としたレンタサイクルの実施
延べ利用回数：5,144回
- ・専用Webサイトの周知
閲覧回数：33,142回
- ・BMX利用可能施設の維持管理
北部レクリエーションパーク 外2施設
- ・交通公園での自転車貸出の実施
延べ貸出数：4,442回

R7 評価

- ・インバウンドの需要もあり、レンタサイクルは順調に利用されている。
- ・様々な施設で自転車の楽しさを伝える取り組みが展開できている。
- ・継続して事業が実施できるよう施設の維持管理が必要。

R8 事業計画

- （継続）
- ・レンタサイクル事業の継続実施
- ・サイクリングスポーツの環境提供
- ・交通公園など子どもたちが交通ルールを学べる環境の整備

【指標】自転車の総合的な使いやすさ

【目標値】「満足」と感じる人が市民の15%以上

【策定時現状値】市民の11.4%（R5アンケート）

【R7現状値】計画最終年度にアンケート実施

基本方針 2 自転車通行空間の整備



自転車で走る

施策 3 自転車ネットワーク計画路線の整備

主な事業内容

・ 自転車ネットワーク路線における優先整備路線の整備

・ 千曲川新道（自転車道・遊歩道）の整備



R 7 実績報告

・ 優先整備路線

R7年度末総整備延長 30.7km

・ 千曲川新道の整備
道路築造工事（完了）

町川田工区 0.6km

測量設計（着手）

旧信濃川田駅内工区 0.30km

東川田工区 0.15km

象山口工区 0.28km

R 7 評価

・ 千曲川新道 3 工区で測量設計に着手し、次年度以降の道路築造工事を推進することができた。

・ 矢羽根型路面標示の整備が進まなかったため、次年度以降整備を進める必要がある。

R 8 事業計画

・ 優先整備路線の整備
R8年度末総整備延長

33.5km

・ 千曲川新道の整備
道路築造工事 0.45km
旧信濃川田駅内工区外

・ 矢羽根型路面表示の設置
差出犀北線外 2.30km

施策 4 自転車が利用しやすいまちづくりの推進

主な事業内容

・ 整備進展にあわせた自転車交通ルールの広報啓発

・ 自転車走行に係る道路標識・道路標示類を適切に設置し、運用

・ 放置自転車のないまちの推進

市道及び自転車等整理区域での放置自転車の撤去



R 7 実績報告

・ 道路標識、道路標示類の設置場所、表記の検討

・ 自転車道整備の広報啓発

市ホームページへの掲載

・ 放置自転車の撤去（台数）

市道 : 50台

自転車等整理区域 : 100台

R 7 評価

・ 標識等設置には至っていないが、継続して必要な設置箇所の検討が必要

・ 市道上等に放置された自転車を撤去回収することで、走行しやすい空間の確保することができた。

R 8 事業計画

（継続）

・ 道路標識等の設置場所、表記の検討

・ 自転車道等の整備に関する広報啓発

・ 市道及び自転車等整理区域での放置自転車の撤去

【指標】 自転車ネットワーク路線における整備延長

【策定時現状値】 整備済み延長 30.1km（R 6 年度末）

【目標値】

整備延長 45.1km

【R 7 年度末現状値】

整備延長 30.7km

基本方針 3 自転車利用環境の整備



自転車を **駐める**

施策 5 目的やニーズに応じた駐輪場の整備と管理

主な事業内容

- ・市営自転車駐車場の適正な維持管理
- ・**市営自転車駐車場照明LED化**の推進
- ・**長野駅自転車駐車場の改修整備**
- ・駐輪場の新たなモビリティ対策
- ・駐輪場の充実化



R 7 実績報告

- ・照明増設
豊野駅南口自転車駐車場
三才駅広場自転車駐車場
- ・LED化工事の実施
今井駅西口自転車駐車場
信濃浅野駅自転車駐車場
豊野駅北口自転車駐車場
- ・**大規模長寿命化改修工事**
長野駅自転車駐車場
(平置きスペース拡充 19台増)

R 7 評価

- ・LED化工事にあわせて照明増設工事を実施するなど当初計画以上の工事を実施できた。
- ・様々なモビリティに対応するため、**平置きスペースを拡充**できた。
- ・**平置きスペースが適正利用されない状況**が見られた。

R 8 事業計画

- ・市営駐輪場の維持管理
- ・照明LED化工事の実施
安茂里駅自転車駐車場
中御所自転車駐車場
- ・駐輪場管理人による**平置きスペースの適正な利用推進**

施策 6 快適に駐めるための放置自転車対策の推進

主な事業内容

- ・市営自転車駐車場内の駐輪自転車の適正な整理
- ・市営自転車駐車場内の**放置自転車の放置自転車の撤去**
- ・放置自転車リサイクル事業の推進
- ・**処分する放置自転車の削減**



R 7 実績報告

- ・整理員及び管理人による市営自転車駐車場の巡回及び整理
- ・市営自転車駐車場内に放置された**自転車の撤去 635台**
- ・放置自転車の譲渡及び売却
登録自転車店等への譲渡
有償70台/無償185台
官公庁オークションの活用
売却6台 (総額 58,000円)

R 7 評価

- ・整理員による啓発活動等により放置自転車の**撤去台数を減らす**ことができた。
(R6撤去台数 670台)
- ・放置自転車の譲渡及び売却により**処分される自転車の削減**が図られている。

R 8 事業計画

- (継続)
- ・整理員及び管理人による市営駐輪場の巡回及び整理
- ・市営駐輪場内の放置自転車の撤去
- ・引取りのない放置自転車のリサイクル事業の推進

【指 標】 市営自転車駐車場放置自転車の撤去台数

【目標値】 撤去台数 **年間600台以下**

【策定時現状値】 撤去台数 670台／年 (R 5 年度末)

【R 7 年度末現状値】 撤去台数 **年間635台**

基本方針 4 自転車安全利用の推進



自転車のルールを **守**る

施策 7 世代に応じた交通安全教育の推進

主な事業内容

- ・ **世代に応じた内容の交通安全教室の実施**
- ・ 体験型交通安全教室(スケアードストレート技法による自転車交通安全教室)の実施
- ・ 交通安全教室への交通安全教育講派遣

R 7 実績報告

- ・ **交通安全教室の実施 125回**
受講者数 8,898人
- ・ **スケアードストレート方式**による交通安全教室の開催
三陽中学校/若穂中学校
- ・ 交通安全教育読本配布
小学校1年生対象 3,000部
- ・ 交通安全教室への講師派遣

R 7 評価

- ・ 世代に応じた交通安全教室を実施し、広く交通ルール等の周知を図ることができた。
- ・ 人材の育成及び派遣を実施することができた。



R 8 事業計画

- ・ 交通安全教室の実施
- ・ **スケアードストレート方式による交通安全教室**
川中島中学校
東部中学校
- ・ 交通安全教育読本の配布
- ・ 交通安全教室への講師派遣

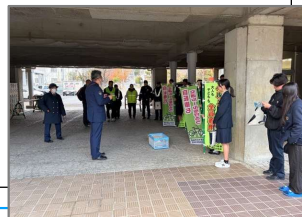
施策 8 交通ルールやマナーの広報・啓発

主な事業内容

- ・ 自転車事故の危険性等についての広報啓発
- ・ 交通安全運動を活用した**街頭啓発活動を実施**
- ・ イベント等を利用した自転車ヘルメット着用の啓発促進
- ・ **法律や条例の改正による新たなルールのわかりやすい広報**

R 7 実績報告

- ・ あらゆる媒体で広報を実施
- ・ **街頭啓発活動の実施 47回**
- ・ **市内高校での啓発活動 延べ7校**
- ・ 自転車の反則通告制度について、市報、市政放送による広報の実施



R 7 評価

- ・ **多くのメディアを活用して広報**することができた。
- ・ 自転車の反則通告制度について、広報等を活用して周知を図った。
- ・ **一時的な広報ならぬよう継続**した啓発活動が必要。

R 8 事業計画

- ・ 広報等の活用したルールとマナーの啓発
- ・ 警察等関係機関と連携した街頭啓発活動の実施
- ・ 自転車の**反則通告制度など改正道路交通法についてタイムリーな広報**と啓発活動の実施

【指 標】 自転車に関する事故件数

【目標値】

事故件数 **年間189件を下回る**

【策定時現状値】 事故件数189件／年 (R 5 年末)

【R 7 年末現状値】 事故件数 **年間139件**